

修学旅行等の食品に起因する事故防止についてのお願い

1 食べ物による事故を防止しましょう

- (1) 旅館などへの到着が遅れるときは、早めに連絡してください。
- (2) ハイキング等の弁当は、現地に直接届けてもらってください。
- (3) 弁当は、直射日光や高温多湿を避けて保管し、バス内に放置しないでください。
- (4) 消費時間を確認して、弁当を購入しましょう。
- (5) 食べ残しの弁当は、後で食べないようにしてください。
- (6) 調理後4時間以上を経過したものは、食べないようにしましょう。4時間以上経過したものを食べた時、食中毒が多く発生しています。

2 清潔を心がけましょう

- (1) 食事の前やトイレの後は、必ず手を洗いましょう。
- (2) ハンカチ類は各自持参した清潔なものを使いましょう。

3 生水は飲まないようにしましょう

- (1) 湧き水・沢水・井戸水などで消毒されていない水は、飲まないでください。
- (2) 旅館で、水道水・湯ざまし・お茶などを用意してもらえると良いでしょう。
- (3) 旅館では、いたずらや毒物混入を防止するため、ポット等を無人の状態で置かないようにしています。

4 キャンプ時は次のことに注意しましょう

- (1) 献立は加熱食品に限ってください。
- (2) 肉・魚類は、中心までよく加熱してください。
- (3) 食材は、直射日光や高温多湿を避けて保管しましょう。

5 雨天時の対応について

- 高冷地なので夏季でも冷え込みます。計画を変更するなど、健康には充分注意してください。

6 弁当の材料と献立の吟味

- (1) 材料は、できるだけ新鮮なものを使いましょう。
- (2) ごはんは、よく冷ましてから盛り付けましょう。傷みやすい食材は、夏場の使用を控えましょう。

7 健康チェックについて

- (1) 出発前に健康チェックをしてください。
- (2) 健康に異常のある児童・生徒は、参加を見合わせてください。

8 食品による事故が起きた時

- (1) 保健所（健康福祉センター）に速やかに連絡して、指示を受けてください。
- (2) 料理・弁当・飲み物等の残品や吐物を保管してください。
- (3) 患者の住所・氏名・年齢（クラス名）の一覧を作成してください。

9 観光地の環境美化の促進について

- 空き缶・空きビン等のゴミは持ち帰りましょう。